

2020年度 「学生による教育環境改善のためのアンケート」実施報告

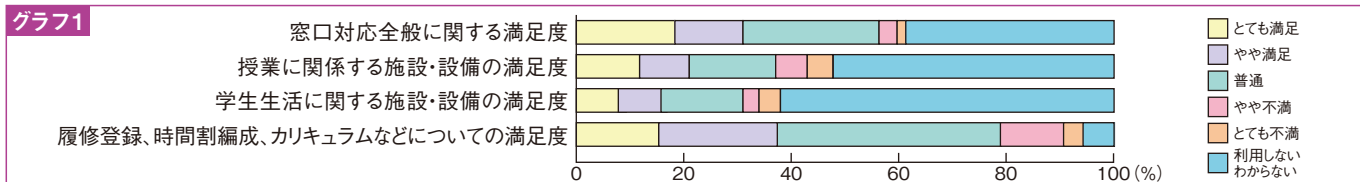
実施概要・調査方法 「学生による教育環境改善のためのアンケート」は、学部生、大学院生、聴講生などのみなさんから意見を広く集め、窓口や施設に対する満足度を調査し、課題を発見することを目的として年1回秋学期末に実施しております。

アンケートは、原則、第13回目あるいは第14回目の授業日(最終授業日)(1月9~26日)のクラス指定の必須科目、演習科目にて教員から学生への指示の下でおこなわれました。本学では2020年度秋学期は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実技・実習を伴う授業等を除くほとんどの授業を遠隔(オンライン等)で実施しました。これにより、リアルタイム型以外の授業では授業中に教員から学生への指示が困難となり、対象となる全ての学生に対して、1月9日~27日の間に各自アンケートに回答するようPorTaIIの個人向け掲示板や電子メールにより呼びかけました。

アンケートの内容については、選択式と自由記述式をとり、選択式では窓口サービスや施設の設問に対しての満足度を調査しました。また、自由記述式では、設問にある窓口、施設を具体的に選択させ、それに対する満足度とその理由の記述を求めました。

集計方法 選択式については、それぞれの設問に対し集計をおこない、また自由記述については、回答者が入力した原文をそのまま集計しました。なお、集計の際には学生個人を特定するデータは一切含まれておりません。

結果報告 学部生、大学院生、聴講生など合わせて8,187名の対象者の内、1,079名のみなさんから回答いただきました(回答率:約13.2%)。そのうち学部生、大学院生については、それぞれ所属別・学年別に満足度を集計しました。各設問に対する回答者全体の満足度の結果は**グラフ1**の通りです。自由記述については、回答者個人を特定できないように資料を作成し関連事務局へ渡しました。個々に対する質問には回答しませんが、「自由記述に対する事務局からのフィードバックコメント」として大学からの回答をホームページに掲載します。なお、満足度について、2020年度はコロナ禍のため、学生の利用が過年度と異なることを考慮する必要があります。



今後について 今後は「事務局自己点検・評価委員会」を中心に、アンケート結果に基づく課題点を抽出し、その検討及び改善に取り組みます。なお、活動状況・改善報告等については、アンケート結果に対してのフィードバックコメントとして回答するとともに、適宜、大学ニュースやホームページにて報告します。

概要

1. 2020年度の教育環境改善報告

2019年度のアンケート結果を受けて行った2020年度の改善について報告します。

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の措置として、対面授業から遠隔授業への転換、遠隔授業支援特別奨学金の給付など学生のみなさんが学びの継続を止めないために様々な課題に取り組みしてきました。

対面授業から遠隔授業への転換では、リアルタイムでの授業ができるようにZoomやWebexといったWeb会議システムの導入、またオンライン上で講義資料の配布やレポートの提出、グループワークが行えるように学習支援システム(LMS: Learning Management System)である「manaba」を導入しました。

遠隔授業支援特別奨学金(給付型)は、遠隔授業への移行に伴う学修環境整備の負担軽減のため、全学部生・大学院生を対象に募集告知し、2次申請者を含め全学生の98.5%に支給しました。また、家計急変により学業の継続が困難になった学生のために授業料減免や給付金の特別措置も実施しました。

その他、本学内の書店によるオンラインでの教科書販売、図書館が契約している電子書籍やデータベースの自宅利用、郵送での図書館書籍の貸し出しなどサービスの提供を実施しました。

事務局では、大学全体の重要課題に取り組みつつ、事務局自己点検・評価委員会において、窓口対応、授業関連施設、学生生活施設の改善をはじめとする、諸施策を推進しました。社会の変化と学生のみなさんのニーズの変化に対応するため、本アンケートで挙げられた要望をもとに教育環境の改善を着実に進めていきたいと思います。

■ 窓口対応

- 学生のみなさんからの指摘やご意見について各部課室で話し合いをおこない、速やかな改善に取り組みました。
- 「挨拶」、「丁寧」、「正確」のスローガンと教育的配慮に基づいて、学生のみなさんとの良好な関係づくりや、積極的な情報発信などに取り組みました。

■ 授業関連施設

- アリーナ及び人工芝グラウンドを利用する団体においては、感染予防対策のガイドライン作成等、厳しい利用上の要件を課した上で利用を再開しました。
- 利用者の安全のため、アリーナ床のウレタン塗装を夏休み中に実施しました。また、竣工後13年目になる人工芝グラウンドの芝張替工事を2021年3月に完了しました。より安全かつ快適に授業や学友会活動で利用できるようにしました。

■ 学生生活施設

- 学生向けの学食等施設は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、遠隔授業を中心とした入構制限となったため、休業せざるを得ない状況となりました。
- 入構制限の間の2021年3月に35周年記念館の学生食堂の照明のLED化は完了しました。従前の照明器具は天井からワイヤーで吊られた蛍光灯で、地震時の落下が懸念されていました。今回、照明設備のLED化に伴い、耐震化も同時に行いました。新しい照明器具は天井に固定する方式となりました。

2. 2020年実施のアンケートに対するフィードバックコメント

■ 窓口対応

- 「丁寧」、「対応が良い」などの意見をいただいておりますが、「無愛想」などのコメントもありました。この点については今後、事務局自己点検・評価委員会を通じて、窓口スローガンである「挨拶」、「丁寧」、「正確」の意識のさらなる徹底を図ります。

- オンラインでの問い合わせ場所について、新型コロナウイルスの影響で、従来の窓口での問い合わせができなくなったことから、大学ホームページトップページの最下段にある「お問い合わせ」から遷移できる「お問い合わせフォーム」の「あなたの」(属性)欄に、「在学生」を追加しました。総合企画課が担当部署に転送し、複数部署と調整の上、よりふさわしい回答を作成しているため、各窓口のメールアドレスは掲載していないことをご理解ください。

■ 授業関連施設

- 各更衣室について、コロナ禍のもと、新たに空気除菌装置を設置し、消毒液を常備しています。また、活動のインターバル時間にロッカーの消毒作業を行っています。利用可能なロッカーには引き続き制限がありますが、安全なご利用を心がけてください。
- 図書館について、2021年4月より予約なしで利用できることとしました。今後も、感染予防対策を最大限おこないつつ、段階的にサービスを拡大して行く予定です。最新の情報については、図書館HP、PorTaII等をご確認ください。
- 西棟3階のラーニング・スクエアについて、2021年度は、対面授業の合間のオンライン授業受講の際にご利用いただけるよう、ラーニング・スクエア1にも認証プリンターや常駐スタッフを配置しました。また、机を1人掛用へ再配置して、常設パソコンも設置しました。グループ学習は、ラーニング・スクエア2を予約利用いただけます。なお、ラーニング・スクエア1は常設パソコン設置のため、グループ学習での利用ができなくなりましたが、大学構内には他にもグループ学習できるスペースを用意しています。冊子「自習スペースMAP」を学内各所で配布していますので、ぜひご覧ください。
- ICZについて、2021年度の運用は、通常とは異なり、オンライン授業に対応した自習エリア、グループワークエリアとしての「場」を提供します。今後、通常の運用に戻った際には、ICZのコンセプトである多文化多言語のコミュニケーションゾーンであり続けるため、学生のみなさん一人ひとりの工夫とご協力をいただき、より良い空間となるよう、みなさんとともに作っていきたくと考えています。

■ 学生生活施設

- 学生食堂について、メニューについては、継続して対応を進めていきますが、新型コロナウイルス禍においてはメニューを限定せざるを得ない状況です。また学食内の感染予防対策として、3密を防ぐための席数の制限(これまでの半数)、全テーブルにパーティションを設置、定期的な除菌清掃、適宜窓開けによる換気をおこなっています。しかし、感染源の主な原因である「飛沫感染」を防止するため、学生のみなさんが食事中にマスクをはずしたまま会話をしない「黙食」を徹底いただくようお願いいたします。そのほか、スタイルカフェやスタイルカフェ・スタンドは当面休業となりますが、キッチンカーやセブンイレブンは営業を再開しますのでご利用ください。
- トレーニングルームは、講習会を受講すれば卒業まで利用できる施設です。2021年度は、毎月3回講習会を実施する予定ですので、ぜひご利用ください。詳細は、PorTaIIに掲載します。
- 喫煙は、必ず学内3カ所(①中央棟北西側、②西棟南側、③天野記念館南側)の喫煙室内でお願いします。喫煙室内も「密」に注意し、会話はしないでください。

■ その他

- Webシステムについて、「manabaの導入で、課題提出が楽になりました」との意見をいただきました。manabaの導入により、先生方と学生のみなさんとのコミュニケーションがよりよくなったと感じております。
- 「授業で利用するシステム(PorTaII, manaba, MyDOC)が授業ごとに違うので分かりにくい」との意見については、シラバスにて授業で使用するシステムを明記し、各教員から配信される初回の授業案内はPorTaIIにて連絡することを、引き続き徹底していきます。

この記事の詳細はHP「獨協大学の自己点検・評価活動」のページ内にある「学生による教育環境改善のためのアンケート」をご覧ください。

<https://www.dokkyo.ac.jp/about/selfmonitor/selfmonitor.html>